



2024.6.24

AtomOS 11.07.00 ファームウェアリリースノート

Ninja Ultra

インストール方法

ファームウェアのアップデートを開始する前に、Ninja Ultra を主電源に接続することをお勧めします。

1. フォーマット済みの SSD をドッキングステーションに挿入してください。
2. ダウンロードしたファイルを解凍し、ATOMNJU.FW ファイルを SSD のルートにコピーしてください。
3. SSD をドッキングステーションから抜いてください。(OS のガイドラインに従います)
4. Ninja Ultra に SSD を挿し込んでください。
5. Atomos Connect をお持ちの場合は、この FW リリースの一部としてモジュールのファームウェアも更新する必要があるため、電源を入れる前に Atomos Connect がデバイスに接続されていることを確認してください。
6. Ninja Ultra の電源を入れると、ファームウェアのアップデートが自動的に開始されます。
注意: Ninja Ultra の電源が入っている場合、新しいファームウェアを含むドライブを挿入すると、ファームウェアのアップデートを実行するよう促されます。
7. アップデートが完了すると、Ninja Ultra の電源が切れます。
8. Ninja Ultra の電源を入れ直すと、デバイスは自動的に Atomos Connect アクセサリーのアップデートを開始します。
9. ファームウェアのアップデートが正常に完了したかどうかを確認するには、メインメニューに移動し、情報タブにスクロールします。
注意: Ninja Ultra にファームウェア 11.07.00 が正常にインストールされると、Atomos Connect のファームウェアを更新するために本体が再起動することがあります。ファームウェアのインストールを中断しないでください。

新機能

AtomOS11.07.00 は、パナソニック LUMIX GH7 と、フジフィルム GFX100S II の RAW をサポートし、ProResRAW を記録できるカメラのラインナップを拡大しました。

パナソニック LUMIX GH7 RAW サポート

HDMI 経由での ProResRAW 収録に対応

- ・5.8K 4:3 Anamorphic (5760×4320) 23.98p,25p,29.97p
- ・5.7K 17:9 (5728×3024) 23.98p,25p,29.97p
- ・4K DCI 17:9 (4096×2160) 23.98p,25p,29.97p,50p,59.94p

※このカメラでは、Final Cut Pro で WB と ISO のコントロール/スライダー調整が可能です。

フジフィルム GFX100S II RAW サポート

HDMI 経由での ProResRAW 収録に対応

- ・4K UHD 16:9 (3840×2160) 23.98p,24p,25p,29.97p

※このカメラでは、Final Cut Pro で WB と ISO のコントロール/スライダー調整が可能です。

不具合修正と改善

・720p50 や 720p59.94 で録画された H.265 クリップを再生すると、ズームや波形モニター機能が適用できない問題を解決しました。

・ProResRAW クリップをデバイス上で再生する際、手動で一時停止または、再生ヘッドを移動すると、映像と音声の同期が失われる問題を解決しました。

・ソニー FX6 との組み合わせで SDI ファイルネーム同期機能を使用するとドロップフレームが発生し、ATOMOS レコーダーのファイル名がカメラのファイル名と一致なくなる問題を解決しました。

今後のリリースで解決される既知の制限事項

- 録画モードと再生モードを切り替えた際、Wi-Fi およびイーサネット接続の再確立に最大 10 秒かかる場合があります。システムが自動的にネットワークに再接続するまで時間をおいてください。
- NDI RX モードのデバイスで A/V のずれが発生することがあります。
- SRT Listener モードで Wowza を使用してストリームを開始する場合、SRT 出力を検出するのに最大 2 分かかることがあります。
- 再起動後、デバイスがインターネットに接続されるのを待ってから C2C の録画を開始してください(最大 10 秒かかる場合があります)。接続が確立するのを待たないと、C2C の保存先フォルダに重複してアップロードされてしまう可能性があります。
- RAW+プロキシ C2C モードで、Sony FX9 からの 2Kp59.94 RAW フィードが供給されている場合、録画は無効になります。
- C2C モードに切り替えると、モニター画像が一瞬マゼンタがかかった色で表示されることがありますが、すぐに元のモニター色に戻ります。
- RemoteView モードでは、フレームレートを途中で切り替えると UI がフリーズすることがあります。RemoteView の使用中は、フレームレートの変更を行わないことをお勧めします。
- 録画フォーマットとして H.265 を選択した状態で DCI 4K 解像度に切り替えると、RemoteView が期待通りに動作しない場合があります。RemoteView モードで記録形式として H.265 を選択する場合は、16:9 に固定することをお勧めします。
- 720p を HDMI/SDI 経由で他の機器に出力する場合、受信側で画像のアーチファクトが発生する可能性があります。
- 720p50 および 720p59.94 で記録された H.265 クリップを再生すると、ズームおよび波形モニター機能が無効になります。
- WFM モニターツールは、8kp30 および 6Kp60 RAW 入力では使用できません。
- 記録フォーマットに H.265 を選択した場合、Network Record Control は使用できません。
- Live Streaming は、標準 YCC 422 ビデオ入力を使用し、記録コーデックが ProRes または DNx に設定されている場合にのみ使用できます。ProRes RAW または H.265 が記録コーデックとして選択されている場合、ストリーミングは利用できません。
- YCC SDI 入力で ProRes RAW 記録モードを起動した場合、モニタリング画像が正しくない場合があります。ProRes RAW モードで NinjaUltra に RAW 信号を出力しながらのモニタリングとレコーディングは期待通りに動作します。
- HDMI Compatibility モードを選択したまま異なるカメラに切り替える場合、新しいカメラを接続する前に本体を再起動してください。
- 1 つの Atomos Connect に 2 つの AtomRemote アプリを接続すると、パフォーマンスが低下する場合があります。1 つのデバイスにつき、1 つの AtomRemote アプリのみをペアリングしてください。
- デュアルレコードを有効にして DCI アスペクト比で撮影すると、プロキシファイルは 16:9 のアスペクト比にトリミングされます。